

一般質問

こうが

知りたい！
聞きたい！



田中豊文 議員

新型コロナウイルス 対策について

問 地域社会への深刻な影響が懸念される中、高齢者の多い本町において感染防止の観点から、現状においてどのような対策が講じられているのか。

また、万が一に備えてどのような備えが出来ているのかを、町民の生命と財産を守るという観点から、町としての心構えと対策方針について問う。

加えて、町立病院の感染予防体制、公共施設休館の基準、地域経済対策、相談窓口のあり方、生活面も含めた高齢者等への対応、ホームページの改善について

て問う。

答 町では新型コロナウイルス対策本部を設置し、情報提供や行事への対応など感染予防・まん延防止対策を講じ、病院では問診時の検温を実施し、適切な対策が可能な公共施設は開館するものとしている。

経済対策としては、町独自の大胆な対応を検討し、相談窓口においては、健康増進課での電話相談を基本に町民の不安解消に取り組む。

病院再編計画と重点支援 区域選定について

問 昨年の9月議会の時点で、やすらぎ苑の廃止を最終計画案としていながら、12月議会では介護医療院への転換に計画変更された。

その理由は、転換は不可能と認識していたものが、9月議会以降、県等との協議で可能と判

断されたためとのことだが、県との協議記録においては、6月の時点で転換の可能性に言及されているので、理由と記録が整合しておらず、このように合理的な変更理由すら説明できないようでは、計画への信頼性は失われ、再編計画が目指す成果も期待できない。

また、特養施設との協議が行われているが、現時点で特養側の理解が得られているのかを尋ねる。

一方で、国の地域医療構想の実現に向けた重点支援区域に選定されるという話が何の前触れもなく飛び込んできた。

指定により国から財源とともに助言も受けることになるが、再編計画に及ぼす影響について尋ねる。

答 記録や決裁書類が不備である点は反省し改善を図る。

9月議会までは老健から介護医療院への転換が不可能という認識であった。

特養とは町長を交えた意見交換会を行い理解は得られている。再編計画を絶対に変更しない

ということはいきれないが、国からの助言を理由にして変更することはしない。

機構改革について

問 周防大島町誕生以来、まちづくりの原動力となるべき役場組織の機構は大きな変更が見られないが、医療、交通、ライフレイン、空き家、耕作放棄地、イノシシ問題など、新たな課題が次々と湧き上がり、このような諸課題に対し、なかなか成果が上がっていないのが実態ではないかと思う。

時代や環境の変化に的確に対応し、様々な課題に対処して希望の持てる幸せに暮らせる町にするための機構改革に対する町長の認識を問う。

答 何よりも財政健全化に取り組んできたが、今後も徹底した行政サービスの見直しと諸課題に取り組んでいくための機構改革や行財政改革が重要と認識している。

また、最小の経費で最大の成果をあげる組織にすることが必要と考えている。